

法政大学と山脇学園中学校・高等学校が 高大連携に関する協定を締結 ～法政大学 SDGs パートナースに加盟～

法政大学（総長：廣瀬克哉）と山脇学園中学校・高等学校（校長：西川史子）は、7月17日に高大連携に関する協定を締結しました。今後、本協定に基づき様々な連携事業を実施していきます。

法政大学は「理想に向かって主体的かつ能動的に活躍する、自由を生き抜く市民を輩出する大学として、世界における市民教育の拠点となる」というビジョンのもと、「法政大学憲章」に「自由を生き抜く実践知」を掲げ、教育活動を展開しています。山脇学園中学校・高等学校も建学の精神として「豊かな教養と高い品格を身につけ、自ら行動する女性の育成」を掲げ、意欲的に様々な学校改革に取り組んでおり、教育目標として「総合知の育成」や「実社会で生きる力を持ったサイエンティスト」を掲げ、文理融合教育に力を入れています。また、「仮説・体験・検証・考察・発表」の学びのサイクルを実践した「総合知カリキュラム」を推進している学校です。

このように、大学憲章や建学の精神に謳う両校の教育方針や人材育成に関する考え方は共有できるものであり、これらを実践するための取り組みを具体化するために、この度協定を締結し、高大連携事業を推進していくこととしました。両校ではすでに連携プログラムを一部実施していますが、今後より一層の交流・連携の推進を図りながら両校の教育を活性化していきます。

【本件のポイント】

- ・ 法政大学は、正課教育プログラム・正課外教育プログラムを問わず、「自由を生き抜く実践知」を涵養する各種教育プログラムを山脇学園中学校・高等学校の生徒に提供する。
- ・ 山脇学園中学校・高等学校が実施する各種プログラムや講座に法政大学の教員を派遣する。
- ・ 山脇学園中学校・高等学校は、法政大学の学生を教育実習生として受け入れる。
- ・ 法政大学と山脇学園中学校・高等学校は連携事業実施に際し、連絡・調整を行うために連絡会議を設置し、連携事業内容の検証・拡充の検討を行うために定期的にこれを開催する。

＜これまでの取り組み＞

◆高校が実施する各種プログラムへの講師の派遣

「総合的な探究の授業」において、山脇学園中学校・高等学校の生徒が各自の研究テーマを設定する中でSDGs やジェンダーに関する社会課題解決に対し、それらを専門領域とする法政大学の教員を講師として派遣しています。山脇学園中学校・高等学校は、「Well-being（一人ひとりの多様な幸せ）」な社会を志向し、自分そして他者や社会と真摯に向き合い、社会に貢献しようとする女性の育成を目指しており、相互の教育リソースを活用しています。

◆法政大学 SDGs パートナース（略称：HSP）への加盟

法政大学は、2018年12月にSDGsに関する総長ステートメントを発表して以降、HOSEI2030推進本部の特設部会「SDGs+（プラス）推進特設部会」を中心に、社会との連携を図りながら精力的にSDGsを推進してきました。また、その一環として、法政大学SDGs パートナース（略称：HSP）を設置し、法政大学と産官学の多様なパートナーの皆様との連携した様々な取り組みを行っています。今回、山脇学園中学校・高等学校もHSPに加盟し、「次世代のSDGs人材の育成」を目指して、両校で協力していきます。

＜法政大学 SDGs パートナース（HSP）＞

<https://www.hosei.ac.jp/sdgs/sdgs/>

法政大学は、今後も引き続き、高大連携事業の強化・拡充をしていきます。

【この件に関するお問い合わせ先】

法政大学総長室付教学企画室 TEL：03-3264-9930 E-mail：kyogaku@hosei.ac.jp